

安倍政権と取材の自由

—官邸による取材の自由と国民の知る

権利への侵害を跳ね飛ばす院内集会—

日時 **4月22日(月) 17:30~19:30** (開場17:00)

場所 **衆議院第一議員会館 大会議室**

16:45より1階ロビーにて入館証を配布します
(先着300名となり次第締め切らせていただきます)

第1部 講演

「民主主義とは何か～安倍政権とメディア～」



講師 **望月 衣塑子 氏**

1975年、東京都生まれ。東京新聞社会部記者。
慶應義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材する。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。東京地裁・高裁での裁判を担当し、その後経済部記者、社会部遊軍記者として、防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続けている。
著書に『武器輸出と日本企業』(角川新書)、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』(共著、あけび書房)、『THE独裁者』(KKベストセラーズ)、『追及力』(光文社)、『権力と新聞の大問題』(集英社)。2017年に、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。

第2部 パネルディスカッション

「安倍政権によるメディア攻撃をどう考えるか、どう立ち向かうか」

梓澤 和幸 氏 (弁護士)

永田 浩三 氏 (武蔵大学教授)

望月 衣塑子 氏

コーディネーター 清水 雅彦 (日本体育大学教授・憲法学)

◆ 連帯あいさつ・アピール採択

主催 **改憲問題対策法律家6団体連絡会**

お問い合わせ

TEL: 03-5367-5430 (日本民主法律家協会)

入場無料
事前申込不要

ーパネリスト紹介ー



撮影：トニー谷内

梓澤 和幸 氏

弁護士 日本ペンクラブ
平和委員会委員長 立憲
主義回復国分寺市民連合
共同代表



永田 浩三 氏

武蔵大学教授
元NHKプロデューサー
「表現の不自由展」共同
代表

今、日本のメディアをめぐる状況は、深刻です。

2018年12月28日、政府は内閣記者会宛に、菅義偉官房長官に対する東京新聞望月衣塑子記者の質問について「事実誤認がある」と決めつけ、不当に圧力をかけてきました。

こうした安倍政権によるメディアへの介入・攻撃に対して、主権者たる国民・市民が共同して、「政権によるメディアへの介入攻撃は許さない」「メディアの取材の自由と国民の知る権利を守れ」の声を大きく広げていくことが、今、緊急に求められています。

▼ 改憲問題対策法律家6団体連絡会

当連絡会は、安倍政権の進める改憲に反対するため共同で行動している6つの法律家団体（社会文化法律センター・自由法曹団・青年法律家協会弁護士学者合同部会・日本国際法律家協会・日本反核法律家協会・日本民主法律家協会）で構成されています。

これまで秘密保護法や安保関連法、共謀罪の制定にも強く反対し、市民との共同行動を続けてきました。



▼ 賛同団体

戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会、
安倍9条改憲NO！全国市民アクション
日本ジャーナリスト会議（JCJ）
日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）

衆議院第一議員会館へのアクセス

- ・丸ノ内線・千代田線
「国会議事堂前駅」1番出口徒歩3分
- ・半蔵門線・有楽町線・南北線
「永田町駅」1番出口徒歩5分